

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 10 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 家族から意見や要望を聞けるよう、家族が利用料支払いのために来所する前に、事前に電話でその旨連絡するとともに、来所の際には利用者の日々の生活の様子を伝えながら、事業所の運営面に対する意見や要望なども聞いているが、意見は特に出されない状況である。 | 家族代表者が構成委員になっている運営推進会議も開催出来ていないので、より良い事業所運営となるよう家族から意見や要望を聞き取るための工夫を検討したい。 | 月に1回の利用料支払い時に意見や要望を聞き取れるように簡単に記述出来るような書面を用意する。また、3ヶ月に1度見直すケアプランについても意見や要望が反映出来るように、聞き取れる書面を用意したい。 | 3ヶ月 |
| 2 | 6 | ○身体拘束をしないケアの実践 毎朝の申し送りには、拘束がなかったか確認しあっている。言葉遣いに関してはスピーチロックとにならないよう特に注意し、利用者が今、何を思っているかを観察と傾聴により把握し、拘束しない方法を職員間で考えながらケアにあたるよう努めている。年2回所内研修も行っている。 身体拘束適正化委員会は職員のみで行っている。 | 身体拘束適正化委員会は職員のみで行っているが、外部の関係者も加え、そうした人達の意見も反映させる事が出来るような体制を作りたい。また、職員に対しては所内研修だけでなく、外部研修にも参加できる機会を設けたい。 | 身体拘束適正化委員会は、まだコロナ禍なので現状のままで経過をみたい。運営推進会議が再開出来るようになったら会議の議題にあげ、意見を頂きたい。また、職員には外部の研修に参加させ学習の機会を設けたい。 | 6ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。